

引用文献

- Bryant, A. L., Schulenberg, J. E., O'malley, P. M., Bachman, J. G., & Johnston, L. D. (2003). How Academic Achievement, Attitudes, and Behaviors Relate to the Course of Substance Use During Adolescence: A 6-Year, Multiwave National Longitudinal Study. *Journal of Research on Adolescence*, 13(3), 361–397.
- 江藤和子. (2012). 中・高校生の問題飲酒群の実態と喫煙・薬物の経験について. *日本精神科看護学術集会誌*, 55(2), 286–290.
- Fergusson, D. M., Boden, J. M., & Horwood, L. J. (2008). The Developmental Antecedents of Illicit Drug Use: Evidence from a 25-Year Longitudinal Study. *Drug Alcohol Depend*, 96(1–2), 165–177.
- 後藤正博, & 大谷典生. (2021). 【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】(第8章)中毒覚醒剤,大麻,危険ドラッグによる中毒. *内科*, 127(4), 882–886.
- Haidt, J. (2003). The moral emotions. In R. J. Davidson, K. R. Scherer, & H. H. Goldsmith (Eds.), *Handbook of affective sciences* (pp. 852–870). Oxford: Oxford University Press.
- Haidt, J., Rozin, P., McCauley, C., & Imada, S. (1997). Body, Psyche, and Culture : The Relationship between Disgust and Morality. *Psychology and Developing Societies*, 9(1), 107–131.
- 法務省. (2020). 令和2年版犯罪白書—薬物犯罪—. <https://www.moj.go.jp/content/001363987.pdf>
- 船田正彦, & 松本俊彦. (2020a). 大麻による有害作用：臨床的特徴. 厚生労働行政推進調査補助金(医薬品・医療機器レギュラトリーサイエンス政策研究事業)「危険ドラッグ等の濫用防止のより効果的な普及啓発に関する研究」研究班編. 大麻問題の現状. (pp. 33–50). 真興交易(株)医書出版部.
- 船田正彦, & 富山健一. (2020b). 大麻成分の依存性と細胞毒性. *薬学雑誌*, 140(2), 205–214.
- 船山信次. (2016). アサと麻と大麻—有用植物から危険ドラッグまで—. *ファルマシア*, 52(9), 827–831.
- Hutcherson, C. A., & Gross, J. J. (2011). The Moral Emotions: A Social-Functionalist Account of Anger, Disgust, and Contempt. *Journal of Personality and Social Psychology*, 100(4), 719–737.
- 今田純雄. (2019). 嫌悪感情の機能と役割——Paul Rozin の研究を中心に——. *エモーション・スタディーズ*, 4, 39–46.

- 入江正洋. (2020). 日本の大学生の薬物乱用に関する意識、実態とその背景. 健康科学, 42, 67–79.
- 入江正洋. (2021). 日本の大学生の薬物乱用に関する意識、実態とその背景—第2報：2012年度の結果との比較検討を含めた2014年度の調査—. 健康科学, 43, 127–137.
- 川畑徹朗. (2009). 青少年の危険行動防止とライフスキル教育. 学校保健研究, 51(1), 3–8.
- 警察庁. (2014). 平成25年の薬物・銃器情勢. https://www.npa.go.jp/publications/statistics/yakuzyuu/data/h25_yakuzyuu_jousei.pdf
- 警察庁. (2020). 令和元年における組織犯罪の情勢. <https://www.npa.go.jp/sosikihanzai/kiyakubunseki/sotaikikaku06/R1.sotaijousei.pdf>
- 警察庁. (2021). 令和2年における組織犯罪の情勢. <https://www.npa.go.jp/sosikihanzai/kiyakubunseki/sotaikikaku09/R02sotaijousei.pdf>
- 警察庁. (2022). 令和3年における組織犯罪の情勢. <https://www.npa.go.jp/sosikihanzai/kiyakubunseki/R03sotaijousei/R03sotaijousei.pdf>
- 北田雅子, 武藏学, 大浦麻絵, & 中村永友. (2012). 大学生の違法薬物への意識とライフスタイル要因との関連. 厚生指標, 59(15), 19–28.
- 厚生労働省. (2022a). 大麻規制のあり方に関する大麻規制検討小委員会議論のとりまとめ. <https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/001002508.pdf>
- 厚生労働省. (2022b). 大麻取締法等の改正に向けた検討状況について(大麻規制検討小委員会の第1回及び第2回の議論の振返りについて). <https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/000972695.pdf>
- 松本俊彦. (2017). 「ダメ、ゼッタイ」ではダメ—薬物乱用防止教育と「故意に自分の健康を害する」症候群—. 子どもの健康科学, 17(1), 23–27.
- 三島健一, & 入江圭一. (2020). 大麻成分の中樞効果：有用性と危険性. 薬学雑誌, 140(2), 193–204.
- 三好美浩, 吉本佐雅子, & 勝野真吾. (2009). 高校生の喫煙, 飲酒, 違法薬物乱用の実態：薬物乱用におけるライフスタイルの危険因子及び保護因子を検討する. 学校保健研究, 50(6), 426–437.
- Monfort, S. S. (2018). Effect of Recreational Marijuana Sales on Police-Reported Crashes in Colorado, Oregon, and Washington. Insurance Institute for Highway Safety, 1–24.

- 村上勲, 齋藤百枝美, 渡辺茂和, & 土屋 雅勇. (2018). 薬物乱用防止に関する薬学部 1 年生の意識変化. *薬学教育*, 2, 187–194.
- 中野智美, 竹下誠一郎, 斉藤ふくみ, & 宮川八平. (2012). 大学生における大麻などの違法薬物に対する意識に関する研究. *学校保健研究*, 54(3), 218–226.
- Newcomb, M. D., & Bentler, P. M. (1986). Drug Use, Educational Aspirations, and Work Force Involvement: The Transition from Adolescence to Young Adulthood. *American Journal of Community Psychology*, 14(3), 303–321.
- 大貫奈穂美. (2013). 若者の違法薬物の使用実態の現状と行政の対応について. *公衆衛生*, 77(6), 438–442.
- Patton, G. C., Coffey, C., Lynskey, M. T., Reid, S., Hemphill, S., Carlin, J. B., & Hall, W. (2007). Trajectories of Adolescent Alcohol and Cannabis Use into Young Adulthood. *Addiction*, 102(4), 607–615.
- Rozin, P., Haidt, J., & McCauley, C. R. (2008). Disgust. In M. Lewis, & J. M. Haviland-Jones & L. F. Barrett (Eds.), *Handbook of emotions*, 3rd ed. (pp. 757–776). New York: Guilford Press.
- 齋藤百枝美, 村上勲, 厚味徹一, 土屋雅勇, & 夏莉英昭. (2014). 薬物乱用に対する薬学生の認識と教育効果の評価. *医薬品情報学*, 16(1), 1–9.
- 嶋根卓也. (2020). 国内外における大麻使用経験率—疫学調査から—. *精神科治療学*, 35(1), 5–12.
- 嶋根卓也編. (2022). 薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究令和 3 年度総括・分担研究報告書. 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部. https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/J_NGPS_2021.pdf
- 嶋根卓也, & 猪浦智史. (2019). わが国における大麻使用の動向—全国規模の疫学調査の結果から—. *医学のあゆみ*, 271(11), 1187–1191.
- 嶋根卓也, 邱冬梅, & 和田清. (2020). 日本における大麻使用の現状: 薬物使用に関する全国住民調査 2017 より. *薬学雑誌*, 140(2), 173–178.
- 嶋津岳士, & 若井聡智. (2013). 脱法・違法薬物の基礎知識. *Medical Technology*, 41(11), 1150–1157.
- 鈴木勉. (2020). 【麻酔科医の薬物依存】日本の管理の厳しさと盲点 違法薬物を抑え込み続けるためには…。 *LiSA*, 27(4), 424–426.

- 高橋佐和子, & 荒木田美香子. (2017). 大学生の薬物乱用防止教育へのニーズの検討—薬物乱用リスクによる相違—. 日本公衆衛生看護学会誌, 6(2), 141-149.
- 富山健一, & 船田正彦. (2020a). 米国における大麻規制の現状：医療用途と嗜好品. 薬学雑誌, 140(2), 179-192.
- 富山健一, & 船田正彦. (2020b). 海外における大麻規制緩和と社会への影響. 精神治療学, 35(1), 13-18.
- 富山健一, & 船田正彦. (2019). 国内外における大麻規制の現状. 医学のあゆみ, 271(11), 1201-1206.
- 梅野充, 森田展彰, 池田朋広, 幸田実, 阿部幸枝, 遠藤恵子, 谷部陽子, 平井秀幸, 高橋康二, 合川勇三, 妹尾栄一, & 中谷陽二. (2009). 薬物依存症回復支援施設利用者からみた薬物乱用と心的外傷との関連. 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 44(6), 623-635.
- 和田清, 船田正彦, 松本俊彦, & 卓也嶋根. (2013). わが国の薬物乱用・依存の最近の動向—特に「脱法ドラッグ」問題について—. 臨床精神医学, 42(9), 1069-1078.
- 山本緑, & 石井祐次. (2017). 乱用薬物に関する医療系学部生の意識調査. 社会薬学, 36(2), 93-96.
- 山根一郎. (2007). 恐怖の現象学的心理学. 人間関係学研究, 5, 113-129.